

## 納品時 詳細度を整理

### CIMモデル導入で国交省

国土交通省は、直轄事業におけるCIM（コンピュータグラフィックス・イメージング）の導入に向け、設計段階における納品レベルや工事納品基準の見直しを検討する。設計段階に

おいては、納品するCIMモデルの詳細度（LOD、レベル・オブ・ディテール）を整理し、2016年度にまとめる「CIM導入ガイドライン」に検討の成果を反映。13年度に策定した成果品作

成の手引きを15年4月にも見直し、工事にも対応させる。国交省は、12月までに概略設計・詳細設計、工事の75事業にCIMを試行導入。このうち工事段階では、発注者による「指定型」が12件、受注者による「希望型」が35件の合計47件の工事で試行を実施している。また、

14年度からは試行事業に加えて、産学官で課題を整理するモデル事業5件を行うことも決めた。これらの試行などを通じ、CIMを導入する際の受発注者間の仕組みづくりも本格化する。設計段階では、構造物や地形に応じたモデル構築の精度を検討。アメリカ建築家協会（AIA）が定めているBIMの詳細度をたたき台として、設計を

納品する段階の詳細度を決め、ガイドラインに反映させる。試行業務における納品基準としてまとめた「試行業務における成果品作成の手引き」も15年4月に見直す。3次元モデルに関連するファイルの格納方法を規定したり、対応するアプリケーションソフト、地形情報の記載方法を参考例として示す。また、工事に対応した新たな手引きも追加する。3次元モデルから数量を算出できるよう数量算出要領も15年4月に改訂。15年度以降の試行事業などへの活用を目指す。

#### 【建設ICT】

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1. 日経    | 2. 朝日    | 3. 毎日    |
| 4. 読売    | 5. 朝日    | 6. 中日    |
| 7. 産経    | 8. 朝日    | 9. 伊勢    |
| 10. 中部経済 | 11. 朝日   | 12. 日刊工業 |
| 13. 建設通信 | 14. 信濃毎日 | 15. 日本海  |
| 16. 建設工業 |          |          |